

南三陸町病院事業改革プラン（平成28年度実績検証）

○改革プランの4つの柱

南三陸町病院事業改革プランは、(1) 地域医療構想を踏まえた役割の明確化、(2) 経営の効率化、(3) 再編・ネットワーク化、(4) 経営形態の見直しと、大きく4つの柱で構成されています。今回はその中から(1)と(2)の数値目標と実績をお知らせします。

地域医療構想を踏まえた役割の明確化における数値目標と実績

| 医療機能・医療品質に係るもの | H27年度（実績） | H28年度（目標） | H28年度（実績） |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|
| 1日当たり平均入院患者数（人） | 35.0 | 75.0 | 77.1 |
| 1日当たり平均外来患者数（人） | 184.1 | 200.0 | 200.7 |
| 手術件数（件） | - | 40 | 26 |
| 卒後臨床研修医受入数（人） | 8 | 10 | 10 |

南三陸病院は地域の基幹病院として二次救急医療を担うとともに、南三陸町唯一の病院として住民の皆さんの多様な要望を踏まえながら外来診療の充実に努めます。入院については、医療圏内の各医療機関などと連携しながら一般病床および療養病床の効果的効率的活用を図ります。

また、医師臨床研修、医科大学生などの地域医療実習の受け入れを積極的に行うことにより、将来の地域医療を担う医師の充足が図られるよう努めます。

経営の効率化における数値目標と実績

（単位：百万円税抜）

| 項目 | | H27年度（実績） | H28年度（目標） | H28年度（実績） |
|-------|----------------|-----------|-----------|-----------|
| 収支改善 | 医業収益 | 715 | 1,165 | 1,185 |
| | 医業費用 | 1,368 | 1,794 | 1,882 |
| | 経常収益 | 1,283 | 1,722 | 1,739 |
| | 経常費用 | 1,410 | 1,919 | 2,008 |
| | 経常損益 | ▲127 | ▲197 | ▲269 |
| | 純損益 | ▲128 | ▲203 | ▲275 |
| 経費削減 | 材料費の対医業収益比率（%） | 16.2% | 12.9% | 13.6% |
| 収入確保 | 病床利用率（%） | 65.40% | 85.00% | 85.60% |
| | 透析患者数（人） | 381 | 3,200 | 3,271 |
| 経営安定性 | 医師数（人） | 7 | 7 | 7 |
| | 看護職員数（人） | 45 | 62 | 62 |
| | 職員数（常勤） | 82 | 109 | 109 |

経営の効率化に関連する項目についての数値目標に係る実績は上記のとおりとなっています。

平成28年度の損益は、新病院の開院によって前年度まで交付されていた県補助金200百万円の減により純損失の増となったものです。

しかし、開院以降の病床利用状況は順調に推移しており、医療圏内の急性期病院や介護施設などと連携しながら病床利用率を今後も高い水準で維持していくことを目標とします。

また、透析診療体制の充実に努めるとともに、患者受入体制を整備していきます。

今後は、なお一層の医業収益の向上に努めるとともに持続的な健全運営を図るため、効率的運営による費用削減に努め収支の改善を目指します。

○南三陸町病院事業改革プランとは

少子高齢化の急速な進行、医師や看護師などの医療技術員の不足など、医療を取り巻く環境が大きく変化していく中でも、町民の皆さんにとって安全安心な地域医療を持続的に提供していけるよう定めた、病院の基本的な運営方針です。南三陸町第2次総合計画、病院建設基本計画、宮城県による地域医療構想などを踏まえ、南三陸病院が担うべき役割の明確化や効率化などについて、具体的な数値目標と取組内容を定めています。

平成28年度から32年度を対象期間とし、毎年9月の決算認定とともに検証を行い、検証結果を12月に公表することとしています。

問合せ 南三陸病院事務部 電話 0226-46-3646